かけはし

第４２号
編集発行　野田市青少年補導員連絡協議会
事務局　野田市青少年センター
電話　04-7125-2639

野田ガスホールで野田市小中学校音楽会が昨年 10 月 18・19 日に開催されました。写真は「The Day」の全体合唱時の南部中学校の演奏です。

みんなで子どもを見守り声かける

野田市青少年補導員連絡協議会会長　倉持　和巳

今年度より会長としての役目を賜り改めて感銘を受けたことは、補導員の皆様が野田市の子どもたちの為に、日頃から地域を見守り献身的に活動してくださっているということです。本当に頭が下がる思いでいっぱいです。

さて、最近の補導の様子を見てみると、以前と比べてあからさまな迷惑行為や喫煙等をしている子どもは少なくなってきました。外に出て遊んでいる子どもの姿を見かけることも少なく、補導活動の在り方を問われる事もあります。

しかし、現在の子どもたちを取り巻く環境は、個性や価値観が多様化すると同時に、他人にあまり干渉しない世の中となってしまっています。そして、子どもたちの誤った行動に対しても、きちんと注意をしてくれる大人が少なくなってきているように感じています。その様な世の中だからこそ、正義感と愛情をもって活動している補導員が大きな役割を持っていると考えております。

補導活動による声かけにより悩みを抱えている子どもや過ちを犯しそうな子どもたちが、一旦立ち止まりいい方向に進む一助になるのであれば、それは子どもたちにとっての大きな『ひとこえ』になるのではないでしょうか。また、この素晴らしい活動が多くの方に知ってもらい、広まることで子どもたちを犯罪などから守る抑止力となることを望んでおります。

最後に、私も微力ではございますが、皆様と共に青少年の非行防止や健全育成を推進してまいりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

誰にでも起こる
ネット依存から子どもを守る

小中学生のみなさん、そして、保護者の皆様、みなさんは一日にどれくらいの時間、インターネット接続やゲームをしていますか。やめたくてもやめられないことはありませんか。もしかすると、そのせいで食事や睡眠が不規則になって、朝起きるのがつらかったり、起きられなかったり、成績が下がったりしていませんか。さらに、ゲームのことなどで家族と言い争いになったり暴力をふるったり、不登校になってしまったりすることがありませんか。

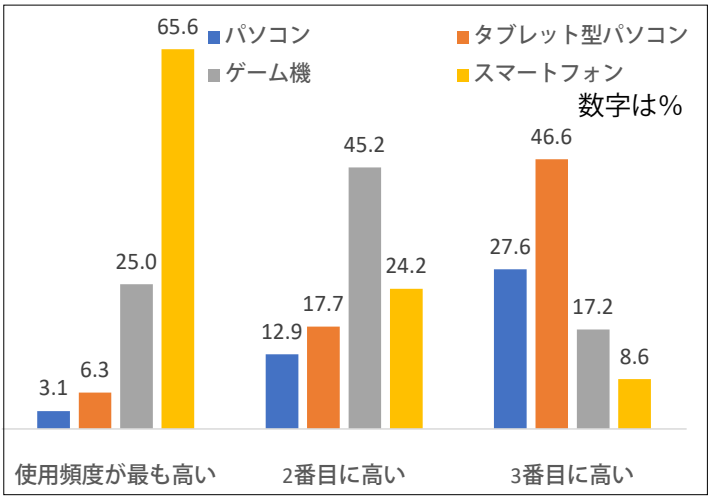

図　ゲーム障害患者におけるデバイスの使用状況

出典：厚労省第２回ゲーム依存症対策関係者連絡会議（令和３年３月26日）資料１　ネット依存・ゲーム障害の治療の実態と課題

実はこれらの症状はネット依存、スマホ依存、ゲーム依存など呼び方は違っても依存の状態にある可能性があります。

厚生労働省の推計によると、ネット依存の疑いがある中高生は２０１７年度には約93万人で、中高生の７人に１人の割合だそうです。さらに、コロナ禍で、ネット接続、スマホ使用、ゲーム時間が延びるなどの調査結果が出ています。低年齢化が進んでいることも問題です。ネット依存と言っても、情報検索からＳＮＳ、ゲーム、動画視聴まで、依存対象はさまざまです。ただ、圧倒的にオンラインゲームの依存が多いということです。

ゲーム障害は病気　脳にも異変が

２０１９年５月には、世界保健機関（WHO）が「ゲーム障害」を病気として認定し、次のように定義しました。

１　ゲームをする時間や頻度をコントロールできない

２　ほかの生活上の関心事や日常の活動よりゲームを選ぶほど、ゲームを優先する

３　問題が起きているのにゲームを続ける、またはより多くゲームをする

４　個人、家族、社会、教育、職業や他の重要な機能分野において著しい障害を引き起こしている

この４項目の状態が12カ月以上続く場合にゲーム障害と診断します。ただし、４症状が存在し、重症である場合には、それより早期の診断が可能です。さらに、ゲーム依存になると、脳の様々な領域に異変が起きることもわかってきました。

ネット・ゲーム依存から子どもたちを守るために、親としてできることは、まずは予防です。依存が進行するほど依存から抜け出すことが困難になるからです。情報端末は親のものという考えを基本にし、アプリやソフトのダウンロードや課金については親が管理しましょう。ペアレンタルコントロールを設定するのも有効です。本人との話し合いの上で、使用時間などルールを決めておきます。使用場所は親の目の届く範囲で見守りましょう。

ただ、すでに依存の兆候が現れている場合は、ゲームへの執着が弱いうちであれば、親の言葉にも耳を傾けられますからじっくり話し合ってください。強制的に情報端末を取り上げる、Wi-Fiの接続を切るなどの行動に出ると、本人が大暴れするなど親子関係が悪化する可能性があります。

依存から抜け出すためには、家族の対応がキーポイントになります。複雑な要因が絡まって起こるネット・ゲーム依存にどのように対応していったらよいか。同じ悩みを抱えた家族が集い、経験や思いを共有し、本人との適切なかかわり方を学ぶ場として、松戸市に事務局がある一般社団法人ネット・ゲーム依存家族の会は、電話やネットから相談できます。その他、ネット・ゲーム依存の治療を行う医療機関は20年９月現在で全国に89カ所あります。「ネット依存　外来」で検索を。

学校創立150周年　関宿小 北部小 福田第二小 木間ケ瀬小

北部小学校

北部小学校は、明治６(1873)年６月28日､「吉春」「岩名」小学校の名称で開校しました。
「庭にそびえるくすの木は」と校歌に歌い継がれている北小のシンボルツリー「くすの木」は、今も正門脇にそびえています。そして、「元気で明るく朗らかに、高く真っすぐに育つ」児童の成長を毎日見守ってくれています。

関宿小学校

関宿小学校の開校記念日の10月28日、『創立150周年記念式典』のセレモニー１として『全校児童による150周年記念発表会』、セレモニー２として『佐久間レイさんによる記念講演会』が開催されました。市長や教育長をはじめ沢山の来賓の方、保護者の皆様にお越しいただきました。『発表会』では、低中高学年の発表、全校合唱「ビリーブ」を歌いました。

木間ケ瀬小学校

創立150周年を迎えた年に在籍している喜びや誇りを感じて学校生活を送っている児童162名。今年度は、本校の卒業生を講師とした「相撲教室」や「講演会」､その他にも「3世代交流グラウンドゴルフ教室」「バルーンリリース」「木小フェスティバル」等、記憶に残る行事を行ってきました。素直で明るい木小っ子は、地域の方にいつも温かく支えられ、健やかに成長しています。

福田第二小学校

福田第二小学校は、明治７（1874）年１月に三尾小学校として設立されました。地域の皆様の温かいご支援に支えられ、「地域とともにみんなでつくる　笑顔の学校　福にっこり」の実現を目指し、一人ひとりを大切にした教育の実践に努めています。野田市より小規模特認校に指定され、現在学区内外より、62名の児童が元気に通っています。

鎌田学園 輝く優勝 スイーツ甲子園

東京都世田谷区の日本菓子専門学校で９月18日、「第16回スイーツ甲子園」（主催・産経新聞、特別協賛・貝印）の全国大会決勝が行われました。

昨年度は決勝トーナメントで惜しくも優勝を逃し、悔し涙を流した野田鎌田学園高等専修学校ですが、今年は「shine（シャイン）」が優勝（文部科学大臣賞）に輝きました。今年のテーマは特別な日や記念日などに贈りたいと思う「アニバーサリーケーキ」をテーマに、全国から122チームが参加しました。

昨年のリベンジもあり、今年のメンバーの3人は「スイーツ甲子園優勝」をテーマにケーキを作成。優勝との発表で喜びを爆発させ、2年振り2回目の優勝を味わいました。

左から向井さくらさん、横山瑠亜さん、中山紋萌さん＝９月18日

優勝した「私達の夢」

県青少年補導（委）員大会

昨年度は野田市で開催された県の青少年補導員大会が、今年は四街道市文化センターで９月30日に行われ、野田市からは６名が参加しました。

四街道市補導員の事例発表では、６年前から市内４校の高等学校のボランティアの生徒や引率職員と一緒に、県下一斉パトロールの街頭補導を行い、声かけ・あいさつや啓発物資の配布を行ってきたとのことでした。

「緊張したが、たくさんの人にあいさつができた」、「愛のひとこえをこれからも届けていきます」等、参加した生徒の声も紹介されました。

記念講演では四街道市出身のプロバスケットボールチーム千葉ジェッツ取締役パートナー本部長の佐藤博紀氏による「千葉ジェッツ×千葉県青少年補導（委）員」との演題で、これまでの経験をもとにした話を伺いました。

みこしパレード当日 県下一斉パトロール

千葉県下一斉合同パトロールは中央地区活動として、４年ぶりにみこしパレードが開催された７月29日、中央Ⅰ・Ⅱ地区、東部、南部、福田地区の５ブロックの補導員と青少年センター職員の計20名がパトロールに参加しました。

参加者は19時から約１時間、啓発物資のうちわを手渡ししたり、あいさつや声かけをしたりしながら、パトロールしました。

９基のみこしが出て、人出がとても多く、みこしが近づくと、歓声が起こり、暑さと熱気で大いに盛り上がっていました。

青少年補導員とは

野田市の青少年補導員の総数は１１８名。市内各小中高の学校からＰＴＡ推せん２名、教員１名、及び各中学校区から青少年相談員が１名という構成です。市内を９ブロックに分けて活動と交流をしています。

また、青少年センターを事務局として、講演会、研修会などの啓発活動や、街頭パトロールなどで青少年に「ひとこえ」かける活動を進めています。ご協力ください。

編集後記

本年度１５０周年を迎えた小学校４校を紹介しましたが、市内には昨年度１５０周年を迎えた中央小・東部小・南部小・二川小があります。改めておめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、ネット依存については、ぜひ皆様に知っていただきたいとの思いで掲載しました。一人でも多くの方にお読みいただけると幸いです。今後も皆様と力を合わせ地域の子どもたちの健やかな成長を願い、「愛のひとこえ」をかけていきたいと思います。